

S H I M I N P H O T O

市民フォト

KAGOSHIMA

鹿児島



No. 103

平成18年1月1日発行



【レインボーベル】

～鹿児島駅前広場～

CONTENTS

〔特集〕鹿児島ペット事情 ～人と犬の共生～	3
クローズアップ 太原久雄さん	12
学校探訪 松元中学校	14
カメラトビックス	16
ハロー鹿児島 アンワール・ムハマドさん	18
私の好きな場所 鎮守喜代美さん	20
ふるさと再発見／文化財編 刀匠玉置家歴代の墓	22
あなたのフォトサロン 伊敷写友会	24
よかタイム 原口典さん	26
街角ウオッチング 郡山町	27
わが家の味じまん 中島さんファミリー	28
館のたからもの かごしま水族館	29
わが町上空 支所編 松元支所周辺	30

★表紙写真説明

日々刻々と変化を続ける市街地。桜島はそれを見守っています。

鹿児島

ペット事情

＝ 人と犬の共生 ＝

生活に潤いと癒やしを与えてくれるペットたち。
飼うのに愛情はもちろんのこと、ルールを守ることも忘れてはいけません。
そんなペットと飼い主の間に入って「共生」を支える人たちがいます。
今年はいぬ成年。ペット事情を探りました。



どの犬猫もかわいく目移りします



瀬戸ロレイ子さん

(ゴエモン・チワワ・3歳)

ペットは家族と一緒にですね。犬を通して飼い主同士のコミュニケーションが広がり、情報交換が楽しいです。



成枝実雄さん

(アイス・ミニチュアダックスフンド・7歳)

2年くらい飼っています。自分の子どものように思っています。言葉も分かってくれますね。散歩はとても喜びますよ。

あなたにとってのペット

● 飼ってる犬のこと教えてください ●



ほうぞう まな いくと
宝蔵愛さん・育斗くん
(カカオ・雑種・1歳)

カカオは宝物で、友だちです。力が強いので散歩は大変ですけど、綱を離さないように気をつけています。



永吉麻子さん

(マリモ・ポメラニアン・5ヵ月)

ペットは家族の一員と思います。精神的に癒やしてくれます。家族との会話も広がりますね。犬には散歩が必要ですが、おかげで私も適度な運動ができていいですよ。



しつけ次第でとても従順な犬たち

ペットショップの一角はまるで子ども服売場のような様子



公園には多くの飼い主が集う

帰ってくるとしっぽを振って寄り添ってきたり、うれしそうに目を向ける犬たち。人はそんな犬たちに自然と顔がほころぶ。ペットブームといわれて久しく、多くの人がペットとして犬を飼っている。

生活の中のペット



トレーナー 早瀬 千春さん



犬社会の ルールを学ぶ

ドッグラン

公共の場ではリード(綱)を付けて散歩することが義務付けられています。ここは犬専用の公園。思いっきり走り回り、遊ぶことでストレス発散になります。犬は犬同士触れ合うことで、犬社会のルールも学んでいると思います。

ペット葬祭業 肥後 浩司さん



葬祭

ペットロスに ならないように

ペットが亡くなったとき、飼い主に気持ちの整理を、ここでしてもらおうと思っています。ペットロス(ペットを失ったときの喪失感。その悲しみから立ち直れない状態にならないため、心のケアを手伝っています。気持ち切り替えて楽しかったことを思い出してもらいたいです。

ペットは多様化しています。団塊の世代がこれからあと2〜3年後に退職するので、心豊かな老後のために小型犬などの需要が増えてくるのではないでしょうか。
飼う人は、他人に迷惑をかけないようにしてもらいたいです。犬を捨てる人がいるけど、ちゃんと責任を持って最後まで飼ってほしいですね。

ペット
ショップ

責任を持って 最後まで



ペットショップ 五田 健さん



動物病院

犬は犬らしく飼おう

市獣医師会会長 池田 耕夫さん

最近は犬や猫も長寿になってきています。外ではなく、家の中で家族の一員として大切に飼われているのが多いからでしょうね。食生活もよくなり、人間と同じように成人病が増えてきています。猫の糖尿病も多いです。昔は猫の糖尿病はなかったんですけどね。
人間とは食生活が違うということを考えて犬は犬らしく、猫は猫らしくすることが大事。生活環境など将来ずっと飼えるのか考えて、ペットを選んで欲しいですね。

ペットを支える人たち

● 人とペットの共生のために働いている人たちがいます ●

トリマー 宮脇 智子さん



トリマー

その犬にあった カットを

動物が好きでこの仕事を選びました。お客さまの要望に応えられるよう気を使います。同じ犬種でも個体差があるので、一番かわいいと思ってもらえるようなカットを心がけています。



山本さんに抱かれ、里親を待つ子犬たち



杉木さんが優しく見守る先はもともと捨て犬や野良猫だった

しつけることが 命を救う

田上町にある市動物管理事務所。飼えなくなった犬猫の引き取りや、新しい飼い主への譲渡などの業務を行っている。「命を助けるためにしつけが必要」と動物の管理、世話係の山本利一さん。市動物管理事務所には子犬や子猫をもらいに訪れる人も多い。しつけられた人なつこい犬猫ほどもらわれやすい。

持ち込まれてきた子犬は2日目くらいからしつけを行う。もらい主にもしつけの方法などを教えて渡す。「甘やかしすぎはよくない。小さいうちにしつけかき教えていけば、大きくなっても害を与えらる犬にはなりません」。しつけがペットとよい関係でいられることにつながる。

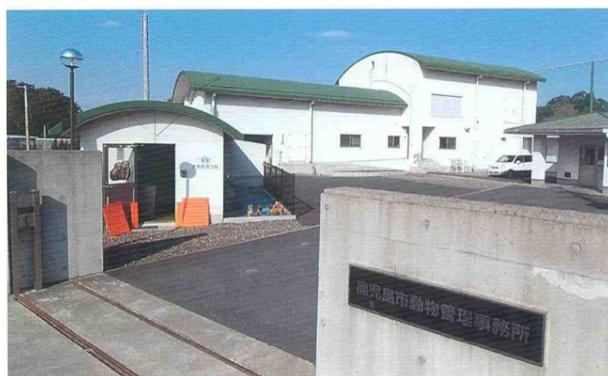
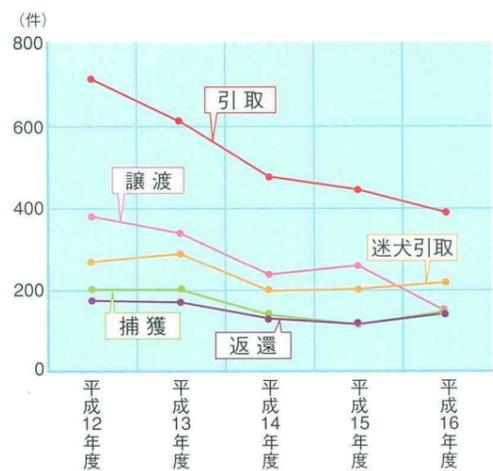
保健所の主催で犬の飼い方講習会も年4回、市動物管理事務所で開催している。飼い方など分からないことがあつたら、電話でも相談に応じしている。

市動物管理事務所
☎2064・1237

人と犬猫が
良きパートナーとして
共生できる社会を
目指して

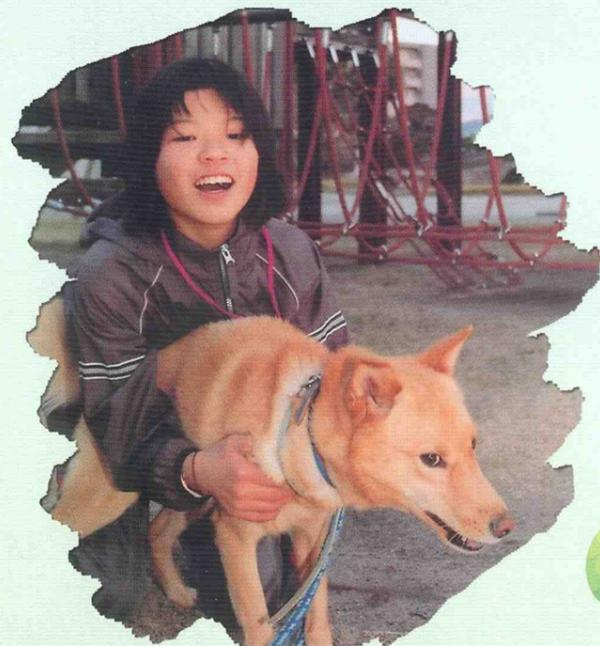
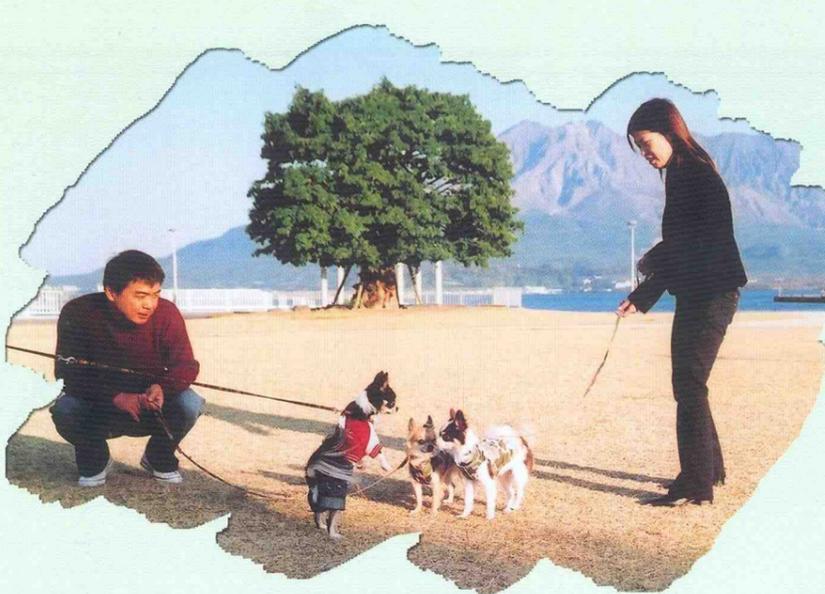
「この犬や猫たちもみんな地球で暮らす仲間なんです。人と犬猫がパートナーとして共生していけるやさしい社会、捨て犬・捨て猫のいない地域社会をつくりたい」と話すのはボランティアグループ「犬猫と共生できる社会をめざす会」の杉木和子さん。自宅では、多くの犬や猫と一緒に暮らしている。子どもたちから動物が好きで、捨て犬や捨て猫に心を痛めていて、なんとかして助けてあげたいと思っていた。行き場のない犬や猫たちの飼い主探し、避妊・去勢の啓発、動物とのふれあいの場を設けるなどの活動を行っている。「皆さんの協力があつての活動。私たちの活動が必要でなくなる社会になればいいんですけどね」。

不幸な犬猫を減らすために



毎週のように行われる里親探し

みんなの笑顔が あふれるまち



飼い主のいない犬や猫の里親探しの手伝いを行っている
ボランティアグループ「わんにゃんハート」



おねがい

- ★ 公園をよごさないように!!
- ★ 公園では犬を放さないように。
- ★ 犬・猫のふんは飼主がもちかえりましょう。



鹿兒島市



人とペットが共生するために

飼い犬は、犬の登録・狂犬病予防注射を受ける義務がある。保健所では法律や条例に基づき、犬の飼い方などを指導している。

公園や歩道に犬のフンが落ちていることがある。「ほとんどの飼い主はマナーを守っています。しかし一部、心ない飼い主がいるのも事実。苦情も多いですよ」と話すのは保健所獣疫係の職員。一部の人のために、ペット全体に厳しい目が向けられてきていることを心配している。

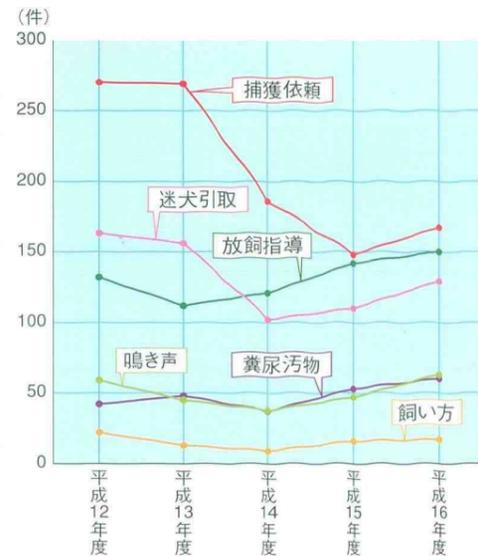
保健所では野良犬などの捕獲も行っている。

自分の都合で飼えなくなったからといって犬を捨てる、夜に放し飼いをする人たちがいる。人と犬とのよい関係を保つためには飼い主一人ひとりがルールを守ること、モラルが必要ではないだろうか。

「犬を飼うことにより、人は癒やされますよね。犬に対してもその気持ちを返してあげることが大事だと思います。命あるかぎり、面倒をみなければなりません」。

飼い主のモラルが問われます

鹿兒島市 犬の苦情件数



動物愛護管理法

「動物の愛護及び管理に関する法律」は、すべての人が、「動物は命あるもの」であることを認識し、動物の虐待防止や適正な取り扱い方などを定めている。

平成17年6月、この法律が改正され、鳴き声・においなどによる周辺への迷惑防止を飼い主に求め、危険な動物への個体識別措置義務の追加、動物取扱業者へ対する規制が厳しくなるなどが追加・改正された。



少年時代の 絵へのあこがれが 絵描き人生の原点

自称「地方の絵描き」の太原さん。簡易折りたたみいす、絵の具や絵筆など必要なものだけを詰め込んだリュックサックを背負い、画板と画用紙を片手に描きたい場所に通う。

自分の生きていた時代の風景と絵に対する熱い思いを記録するため、絵筆を持ち続ける。

絵を描くことの目覚め

沖縄で過ごした少年時代。小学生のころはあまり褒められることもない、いわゆる落ちこぼれといわれる子どもだった。そんな少年が、絵に目覚めたのは中学生のとき。美術の授業で描いた絵を先生が褒め、学校の廊下に張ってくれた。「自分の絵もまんなざらじゃない」と思い始めた。

それからというものの絵のことしか頭になかった。学校から帰るとすぐ絵の道具を持って描きに行っていた。当時は首里城や守礼門、そしてそこから見下ろす港町の那覇を描いていた。

「学校周辺の豊富な題材と僕の絵心がとても合っていましたね」。

沖縄の陽射しは鹿児島より強い。真っ白の画用紙に太陽が照りつけると陽射しが反射し目が痛い。「真っ白い画用紙を見るとそのときの太陽の強さを思い出し、絵を描くときの励みになります」。

画用紙13枚、 約7メートルの作品

市立美術館の1日限りの公募展「あつまれ!ミュージアムパーク」に出展した作品は、私学校跡の石塚約30メートルを描いたもの。「明治10年にあった西南戦争の弾の跡が城山で死んだ鹿児島の子供の魂のように思えてならないんです。その場所を通るたび、胸にこみ上げてくるものがあったんです。それがこの石塚を描こうと思ったきっかけでしたね」。

太原さんは戦争を経験した世代。自分の寿命ではなく、戦争など他人から命を奪われることの恐ろしさを、悲しさを知っている。暑い時期に描い

た作品だったが途中で投げ出すわけにはいかなかった。

幸せだったころ… そしてこれから

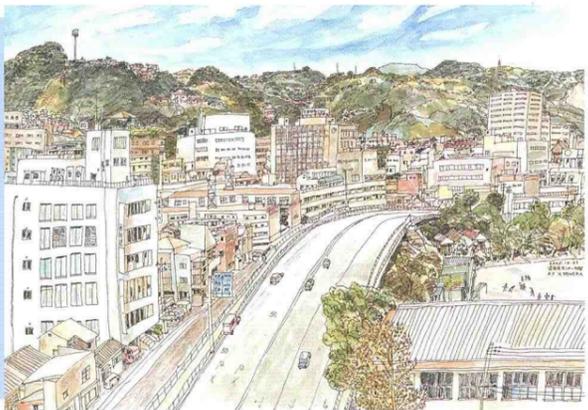
戦争が終わると鹿児島に復員。そのとき第1回南日本美術展の募集が始まっていた。出展した5点のうち4点が入選。「自分の作品がいかに優れているか分かりましたね笑」。

そのときの作品は学生時代に嫌というほど目に焼きつけた沖縄の風景を版画で描いたもの。当時審査員であった吉井淳二さんが「おまえの沖縄の風景の版画はいいぞ」と直接声をかけてくれた。後にも先にも声を聞いたのはそのときだけだった。

「間接的にも自分の作品を批評してくれた偉大な先生方がこの世にいないということを考えて、取り残されたような気持ちになります。82歳という年齢も、わたしもこの世から去らねばならないのだなという物悲しさを感じさせます。自分の絵のまずさを指摘してくれる先生方がいらしたあの

ころが一番幸せでしたね」。

今まで描いた絵や版画を見直してみると、一つのものに取り組んだという、後に残るものがないことに気づく。そこで「ここ2年取り組んでいるのが写真のような記録的な絵を描くこと。芸術的な面はあきらめているんです。ただ、自分の生きていた時代の風景を後世の人に見てもらえるとうれしいですね」と語る。長くない余生を感じているからこそ絵に対する思いが、ますます激しく燃えている。



長田陸橋付近

たはら 久雄さん 略歴

大正12年沖縄県那覇市に生まれる。昭和22年南日本美術展にて南日本新聞社賞を受賞。以後県内外の美術展で受賞経験を数多く持つ。平成17年市立美術館の「あつまれ!ミュージアムパーク」で一般の人による投票第1位の「ポピュラー大賞」を受賞。

CloseUp

クローズアップ

創造



昨年4月に創部された情報部



創立 昭和22年5月 生徒数 502人 (平成17年12月1日現在)

学校探訪

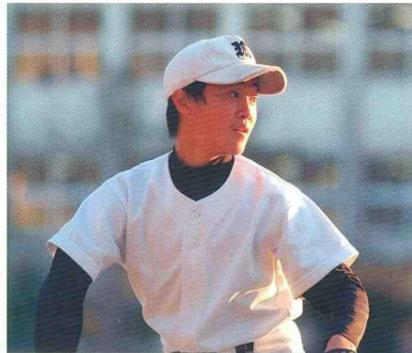
松元中学校



4つの小学校区から、徒歩、JR、バス、自転車で通学。下谷口川沿いの通学路を一気に駆け抜ける



鍛錬

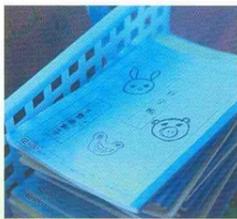


夕暮れまでの限られた時間、懸命に白球を追いかける

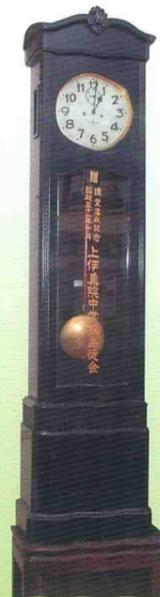


感動

特産のお茶の実と葉から、大地に根をはり、青々と若葉をたたえるような成長をしてほしいと願い、制定された校章



卒業まで残りわずか。クラスみんなで「贈る言葉」を合唱



前身上伊集院中学校時代からある柱時計。動かなくなった今も生徒たちを見守る



11月17～25日
東芝府中ブレイブ・ルーバス鹿児島合宿
昨季のラグビートップリーグとマイクロソフト
カップで優勝した東芝府中ブレイブ・ルーバ
スが鹿児島で合宿を行いました。



10月30日
あつまれ!ミュージアムパーク
市立美術館が初めての試みとして、屋外
公募展を開催。美術館前庭には多くの
作品が並べられました。



10月22日～11月6日
五色の花コンサート(喜入)
合併1周年を記念し、旧5町の支所(旧役
場の議場)で開催。地元の音楽活動家な
どによる演奏や歌声に、訪れた人たちは聞
き入っていました。



9月6日 台風14号のつめ跡
県内外で大きな被害をもたらした台風14
号。本市では鴨池海づり公園の釣り台が
流失しました。



11月20日
第1回鹿児島市安心安全まちづくり市民大会
功労団体、標語特選者の表彰や、シンポジ
ウムの後、参加者全員で天文館周辺をパ
レードしました。



11月2日
かごしま親善大使認証式
ミス鹿児島に替わり初代「かごしま親善大
使」に決定した3人が、おはら祭の夕べでデ
ビューしました。



10月中旬
コスモス(都市農業センター)



10月12日 ウナギの放流
子どもたちに川や魚に関心をもってもらおう
と甲突川漁業協同組合などが実施。伊敷
小学校の6年生76人が、甲突川にウナギ約
350匹を放流しました。



12月10日
世界一たくさん実をつける
桜島小みかんの木収穫祭
子どもたちの手で1個1個収穫が行われ、
1本の木から1万6776個が収穫されました。



11月2・3日 第54回おはら祭
サツマイモ伝来300年を記念し、天文館
の電車通り一帯で行われ、2日間で述べ
261連、約2万1000人の踊り手が参加し
ました。



10月29日
市民と知事・市長との意見交換会
2回目となった意見交換会。喜入小学校
体育館には、約300人が参加し意見を交
わしました。



10月中旬 郡山地域の棚田で稲刈り
幾重もの石積みでできた棚田は黄金色に
輝いていました。



各地から多くの人が集まり、にぎわうバサント。風揚げの試合もある

桜島を見るのが楽しい

「『エクスキューズミー』は、もしかしたら日本では悪い意味があるのかもしれない」。7〜8割の人に英語が通じると思っ、パキスタンから来日したアンワールさん。「エクスキューズミー」と話しかけると、とても驚く日本人の顔を見て、しばらく使えなかった。

東京で桜美林大学と東京大学に2年留学した後、鹿児島に来て5年目。現在、鹿児島大学でがんの研究をしている。

鹿児島では、桜島と海と一緒に見るのが楽しいと目を輝かす。「パキスタンには火山がなく、海も南にしかありません。パキスタン人に、火山と海を一緒にすぐ近くで見られると言っても、信じてもらえないと思う」。

多くの風が揚がる春祭り

パキスタンは、人口約1億5000万人、面積は日本の約2倍。インダス川や世界遺産のモヘンジョダロの遺跡群がある。

アンワールさんは、ラホールというパキスタン第2の都市で医者をしてきた。「パキスタンでは、お金がなくて学校に通えない子どももいます。裕福な家庭ではなかったわたくしが医者になれたのは、両親のおかげです」。

ラホールの二月第二日曜日はバ

サントという春祭り。「びつくりするぐらいたくさん風が空に揚がります」。風揚げは、前日の夜から始まり、家の屋上からサーチライトで照らす。「屋上では、太鼓を鳴らし、踊ったり歌ったりします」。

強いきずなの家族

パキスタンの家族は、昔の日本の家族と似ているという。「夜は家族みんなでごはんを食べます。帰って来ないと心配して捜しに行きます」。同じ家に住んで、誰の部屋にも互いに入っていく。

「日本は経済の発展と女性の社会進出で、家族のつながりが変わったのではないのでしょうか」。

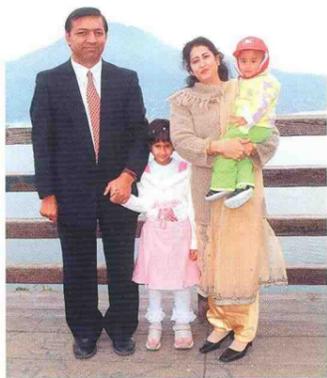
鹿児島では、東京であまり見かけなかったお母さんと若い女性を買う物する姿をよく見る。アンワールさんの子どもが通う幼稚園の行事には、両親、祖父母と三世代が参加。「鹿児島では、家族の関係がまだ強い。これは、素晴らしいことです」。

意志があるところに道はある

大学での研究が一区切りついたらパキスタンに帰り、がんの研究を続ける。

そして、「村に図書館をつくりたい」。都市と地方の格差が大きいパキスタン。アンワールさんの出身の村に、図書館や病院はない。「今は、学校に行かなくても仕事があればいいと思っっている人が多い。本が読めれば興味は広がり、考え方も変わってくるはず」。

図書館の隣に小さなクリニックをつくり、来日する前のように、毎週村に帰り、無料診察をしたいと思う。「難しいけど、意志があるところに道はあるんです」。



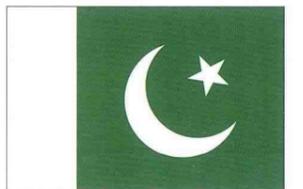
「かわいい妻とかわいい娘」とアンワールさん。右からソヤちゃん、ソビアさん、イザちゃん



【パキスタン出身】

アンワール・ムハマドさん

Hello KAGOSHIMA



桜島が、石油基地が見守っている ここでわたしは生かされている

喜入町 湊田地区

先生になりたかったんですが、親から「これ以上『議』を言う子になるな」と言われ、大学進学を断念しました。今、先生みたいになって、子どもたちと接することができますのは本当に楽しいですよ。

うちの牧場では、酪農体験や動物とのふれあいを通して「食と命」を学ぶ「教育ファーム」に取り組んでいます。

来た子どもたちに最初に言うんです。「おばちゃんはお動物のお母さんなんだからね。嫌がることしたら、怒るよ」って。だいたい言うことを聞いてくれますよ。大学生も来ますが、牧場にミニールを履いて来て、指輪をしたままパン作りじゃ、言う気なんて起こりません。

乳搾りは、牛舎の掃除とか牛の世話をしないとさせません。酪農家の苦労に牛がこたえて血液を変化させたものが牛乳。毎日朝5時から夜10時まで働く人がいるから飲めることを知ってほしいんです。

でも一番伝えたいのは、人が生きていくために必要な食料にも命があるということ。



教育ファームでは年間3000人が「食と命」を学ぶ

料となつて死んでいくの」と言うと、静まり返つて悲しそうな瞳でわたしを見つめます。手は優しく牛の背に乗せて。スーパールの肉にも命があつたことがわかるはずですよ。

教育ファームを始めてから、まちづくりやグリーンツーリズムに関する会議への出席を依頼されるようになりました。委員は大学の理事長や大企業の会長など錚々たるメンバー。わたしは牧場のおばちゃんですが現場を知っているのが強み。気合で武装して座っています。

わたしが喜入のまちづくりで思うのは、

牛の世話をする子どもたちにも「この牛、もうすぐ死ぬんだよ。年とつて乳が出なくなつたから次は肉になるの。最後まで人間の食

石油基地と自然が共存していかなくてはならないということ。基地があるから人が集まり、人が手を入れるから自然が荒れないんです。

この風景はそれを象徴していると思うんです。喜入の緑、向こうに石油基地、そして桜島が見守っています。

ここは喜入に来てからの20数年間が見渡せる場所でもあります。3人の子どもを生んで育ててきた思い出の数々、牧場、あちこちの畑とかね。

納得いかないと親や先生に口答えして、よくたたかかれていた子どもでした。いまだに同じ性格です。よく人とぶつかります。それでいて相手の言葉によく落ち込んだりするんです。そんなとき、ここを一望するとあつたかい気持ちになって、力が湧いてきます。わたしは、ここで生かされてきたんだなって。そう自信を取り戻して牧場に戻っていくんです。

「取材メモ」

命あるものを食べ、自分の命をしっかりと生きたこと。食育とはこの連鎖を教えることだという。牧場で子どもたちは、食育の前提である「命あるもの」を五感で実感し、「助けられないのなら、せめて食べ残さない」と思ったはずである。

教育ファームを通じて鎮守さんの思いは花開くに違いない。



私の好きな場所

My favorite Place



酪農家 鎮守 喜代美さん

昭和32年山川町(現 指宿市)生まれ。昭和57年、喜入の酪農家に嫁ぐ。平成8年に県農村女性海外研修でドイツ、フランスを訪れ、グリーンツーリズムを学ぶ。平成10年、きれいな牧場にグリーンツーリズム宿泊体験館を開設。平成12年、教育ファームの本場イギリスで学び、同年、教育ファームを開設。

刀匠玉置家歴代の墓



所在地／喜入町、県指定記念物（史跡）

将軍吉宗が称賛した刀工

喜入町の傑心寺跡に残る玉置家歴代の墓には初代安貞から七代真安までの一門二十六基の墓石が立ち並んでいる。墓地は原形を留め一方所にまじりまじりおり、学術的にも貴重なものである。

玉置家は、江戸時代の薩摩刀工を代表する主馬首一平安代（二六八〇〜一七二八）を生んだ刀匠の家として知られている。薩摩刀の起源は、平安時代に大和国から刀工正国が、谷山波之平に下つてきたことに始まるという。この系統が波平刀工で、幕末まで約九百年にわたり連綿と続く。

江戸期に入り、相州伝の技法が伝わり薩摩刀に変化が生じた。

この新技法を学んだ玉置家の第二代安代が脚光を浴びることになる。

八代将軍徳川吉宗は、太平の世に慣れた武士に尚武の気風を高めさせるため、享保六（一七二一）年、諸大名に領内の優秀な刀工を報告させ、その中から三人の刀工を選び、江戸浜御殿で刀を作らせた。このうち二人は薩摩藩鹿児島城下の宮原正清、そして喜入の玉置安代であった。両刀工の卓抜した技量を認めた吉宗は、刀の茎に徳川家の家紋である葵紋の一葉を切ることを許し、二人は主水正、主馬首の官位も受領した。

享保九（一七二四）年には、再度

将軍家から刀の献上の命があった。この時に作った刀は現在、県歴史資料センター黎明館にあり、「遙かに鈞命を奉じ、薩州において之を作る」との銘がある（下写真）。

日本刀は、本来武器として作られたものでありながら、古来工芸品としても鑑賞されてきた。鉄を何回も繰り返し鍛錬して刀身を作り、さらに精巧な研磨を加え、鋼の芸術品といわれるまでに昇華させた刀工たちの長年にわたる研鑽の成果が、人を魅了してやまないからであろう。

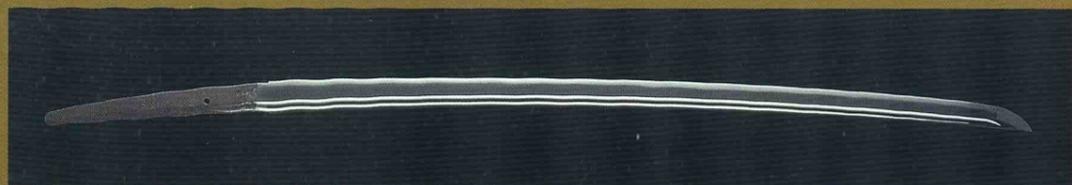
刀匠の家・玉置家の残した薩摩刀は、約三百年を経た今日も鋭い光を放ち、武士の時代の精神を今に伝えている。

文 県歴史資料センター黎明館

学芸専門員 山下 廣幸

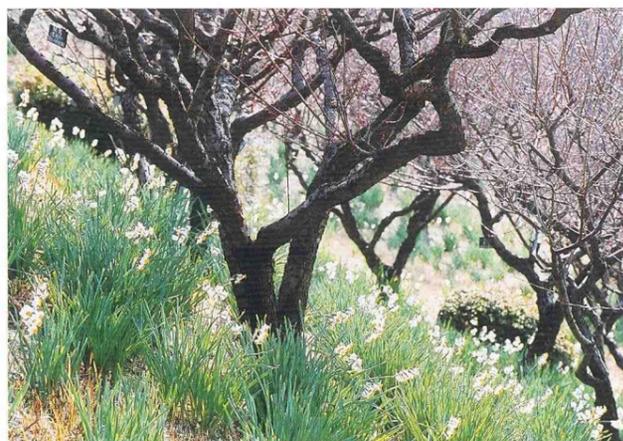


刀・銘「葉葵紋 主馬首一平藤原安代 遥奉鈞命於薩州作之 享保甲辰年」（県指定有形文化財／県歴史資料センター黎明館）

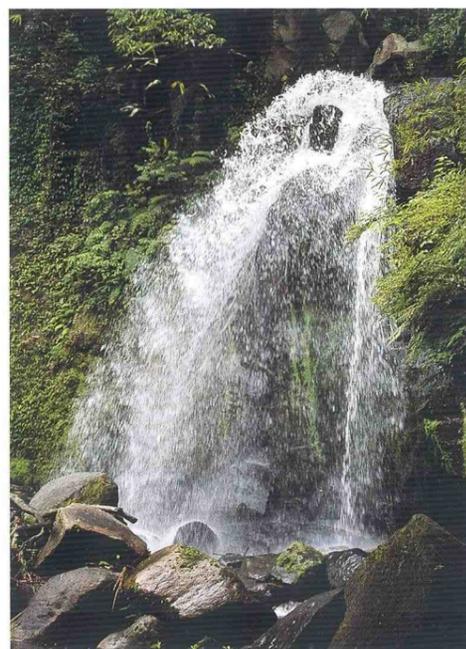


「鹿児島 冬 紀行」

伊敷写友会



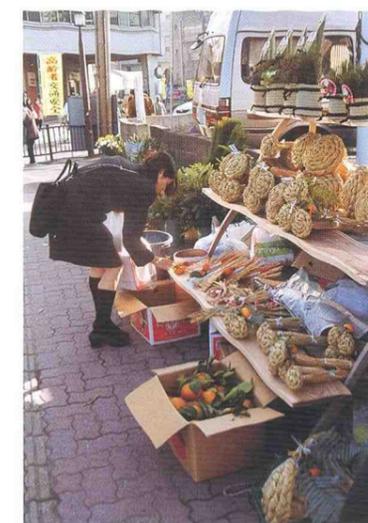
「早春の吉野公園」 山口 公子



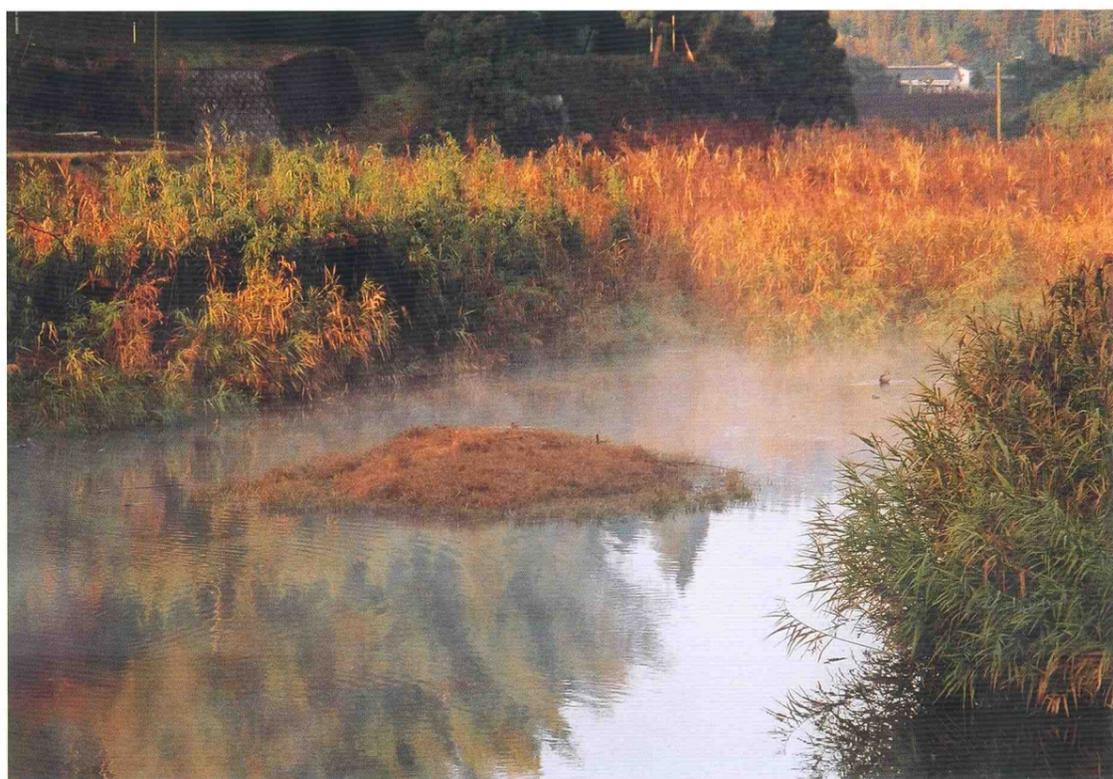
「花野の滝」 寺園 昭夫



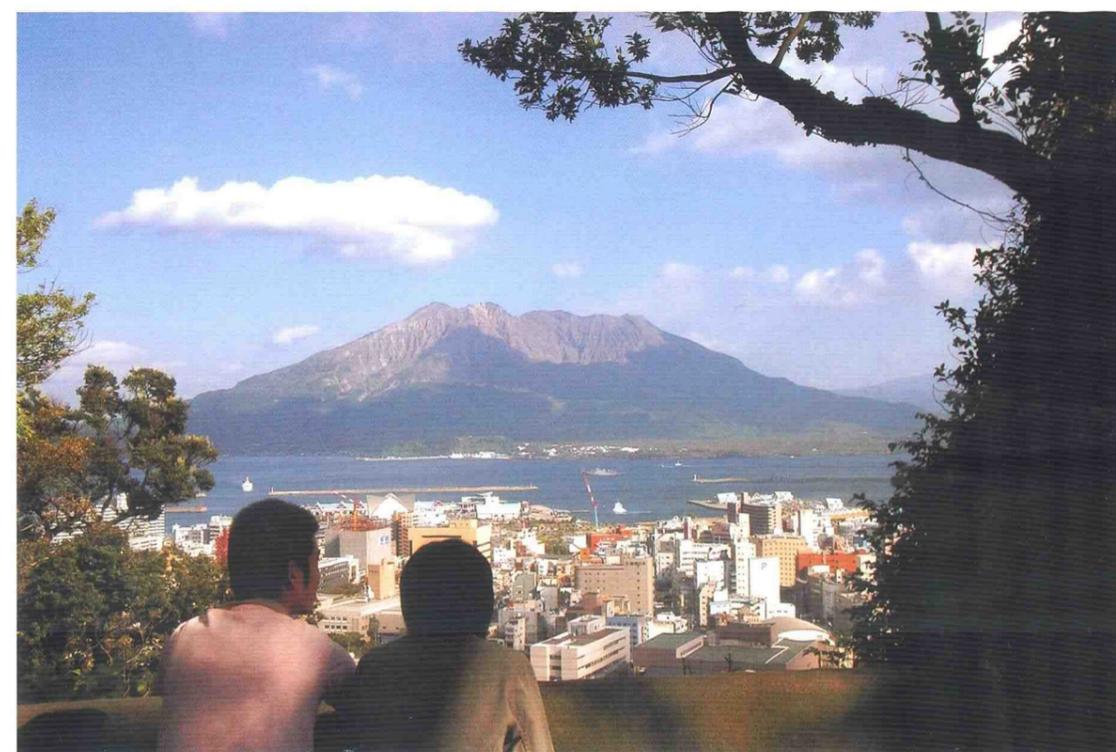
「皆与志の田の神」 竹下 光弘



「年の瀬」 中村 哲郎



「凍てる川田川」 野村 憲子



「二人の世界」 安田 久子

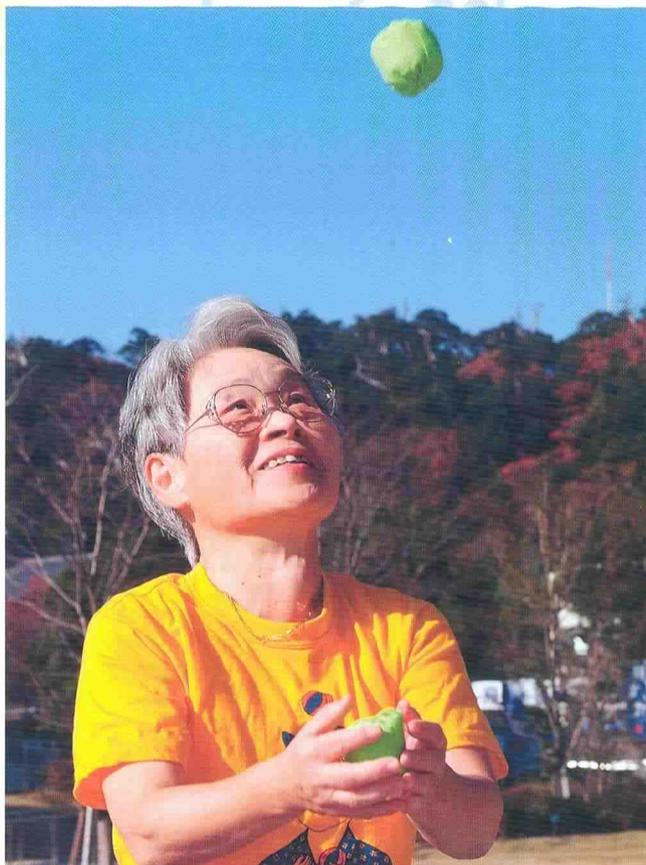
よか時間

TIME

手から手へ
遊びの楽しさ
心のぬくもりを



昔はよく糸を通して首飾り
を作って遊んだじゆず玉



お手玉遊び

原口

典のりさん

色とりどりのお手玉、
懐かしいですね

この手触りと、落としたときの、「シャリ、シャリ」という音が心地よいですよ。中身はじゆず玉なんです。昔は、川べりなんかにかくさん生えていたものですが、今はなかなか手に入りません。大豆やあずきでもできますけど、布と触れ合ったときの音といい、感触といい、じゆず玉が一番いいんです。

お手玉遊びの大会があるんですか

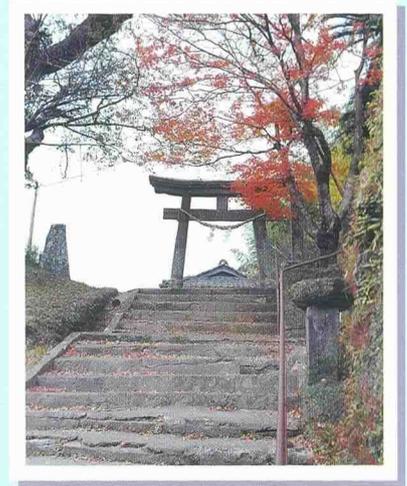
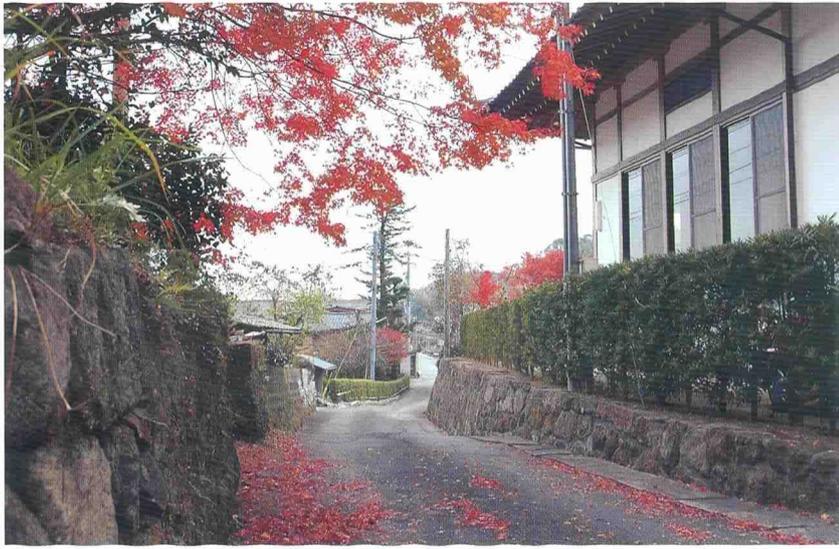
年1回、鹿児島で大会があつて、全国大会もありですよ。個人戦は、両手で3個とか、片手で2個とか、同じゆり方(投げ方)をする人

が集まって、最後まで落とさないでゆり続けた人が一番になります。団体戦は、剣道のように5人1組で、2人ずつ対抗戦をします。

幅広い世代で楽しめる遊びですね

小さな子どもから高齢者まで、畳2畳の広さがあれば、いろんな遊び方ができます。

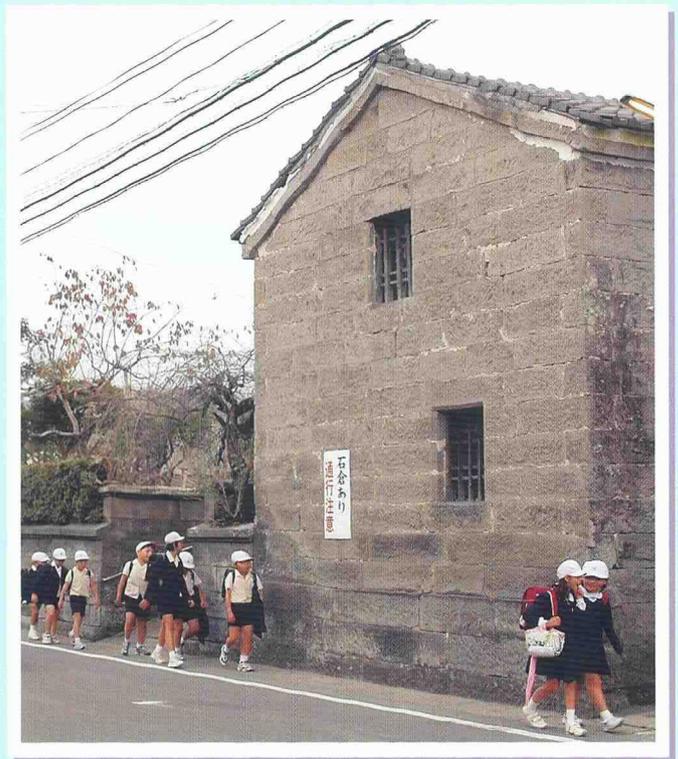
私もよく高齢者の方たちと一緒にお手玉遊びをしますが、みんなで輪になって、お手玉を手にとると、自然に指先が動いて、遊びの中に笑いが生まれます。落ちたお手玉をしゃがんで拾ったり、ふだんあまり使わない左手を使ったり、体と頭、両方のリハビリになるんですよ。



街角

ウォッチング

～郡山町～



味が家の味じまん



「ブリ大根」

「キビナゴとアオノリの磯汁」

中島さんファミリー
【桜島二俣町】

家庭の数だけ食卓があり、家庭の数だけ語りがある。テーブルに広げられた自慢の料理は、家族の笑顔を演出する。

鹿児島市内におよそ26万1千世帯。一人から大家族まで食卓の風景はさまざま。わが家の味は家庭をどのように彩っているのだろうか。

きらきら光るキビナゴの刺し身。軟らかなブリ大根。水菜や大根に大豆やひじきも入ったサラダ。素材のよさがあふれ出ている料理が並ぶ。

訪ねたのは、中島利久さん、孝子さん、中学1年生の早貴さん、小学5年生の万穂さんの4人家族と、隣に住む利久さんの母スミ子さんの夕食。

「育ち盛り、働き盛りなので、食に気を配っています」と孝子さん。

「よく煮えてるね」。スミ子さんが言うとおりのブリ大根はブリのうま味が全体にしみて一体感がある。大根は、スツとはしが通り、口の中でとろける。昨日の夜から煮たそう。

1月中旬からは、桜島大根を使う。「桜島大根は、昔、海から船で出荷していました。出荷前に浜で洗っていると、時々、ピチピチピチッとキビナゴが波にのつてくるんです。それを手でかき寄せて

捕っていたんですよ」。スミ子さんが教えてくれた。

磯汁のアオノリは桜島沖の神瀬で採れたもの。コリコリと歯ごたえのあるノリを初めて食べた。ブリブリしたキビナゴとの相性も良い。郡山出身の孝子さん。結婚して桜島に来て初めて食べて、おいしいと思ったそう。

「孝子さんは料理が上手。上手な人は料理が早い」とスミ子さんは感心する。

今日は、いつもより静かな食卓だったよう。それでも、中島さん一家の温かさが伝わって、やさしい気持ちまでいただいた。

今回のレシピ

「ブリ大根」

1. 材料(4人分)

ブリ4切れ、ダイコン1/2本、ニンジン1本、ゴボウ1本、深ネギ1本、コンニャク1枚、昆布1枚、ショウガ、調味料【濃口しょうゆ1/2カップ、薄口しょうゆ1/2カップ、みりん大さじ1、酒大さじ1、キビ砂糖大さじ1、味噌少量】、カツオ節(だし用)

2. 調理手順

- ①ブリ以外の材料を水でゆでる。
- ②カツオだしの中にブリ、ゆでた材料、調味料を入れ、煮る。



※ショウガを多めにいれて臭みを取るのがポイント。
※ダイコンは面取りして、前日に水ゆでした後、だしで煮ておくと軟らかくなる。

「キビナゴとアオノリの磯汁」

1. 材料(4人分)

キビナゴ12尾程度、アオノリ適量、調味料【薄口しょうゆ1/4カップ、酒大さじ2】、だし(水1リットルに対し、だし昆布3枚・カツオ節少々)

2. 調理手順

- ①だしをとる。
- ②①が沸騰したら、キビナゴを入れて弱火にし、調味料を入れる。
- ③アオノリを入れておいた器に②を取り分ける。



かごしま水族館

「ジンベエザメの赤ちゃん」



ジンベエザメの赤ちゃんの名前は「ユウ太」に決定。後ろで泳いでいるのが3代目ユウユウ

念願のジンベエザメ「ユウユウ」がかごしま水族館に来て、早5年が経ちました。大きくなったら再び海に返すという考えで放流を行い、現在は3代目ユウユウが大水槽で巨体を揺らし、悠然と泳いでいます。ユウユウは市民や来館者から愛され、スターの座に定着したかのようです。

そんな折、去年の7月20日早朝、笠沙の海で信じられないほど小さなジンベエザメが捕獲、発見されました。翌日、かごしま水族館へと運びました。全長136cm、体重15.2kgの、まだ生後6カ月しか経っ

ていないオスでした。日本近海で確認されたジンベエザメの多くは全長4m以上ですから、これほど小さなジンベエザメが発見されたのは、国内初記録はもとより、世界的にも珍しい“事件”でした。巨大さが売りのジンベエザメですが、その赤ちゃんともなれば、世界中の水族館を見渡してもここだけにしかないのです。これから成長する過程で、生態の謎に迫る新しい発見があるかもしれません。

巨大なユウユウの横で泳ぐジンベエザメの赤ちゃんをぜひご覧ください。

(かごしま水族館長 荻野 洸太郎)



わが町上空

支所編

〔松元支所周辺〕

JR 鹿児島中央駅から約10分で薩摩松元駅。一帯は、約1万2700人の松元地域の中心で、市は商業などの都市機能の充実や土地区画整理を進める計画です。駅から西南へ徒歩5分で松元支所。この地域の行政の拠点です。

支所から県道鹿児島東市来線を挟んで松元小学校。校庭のクスノキは120年前の創立時から児童を見守っています。

ひととき幅広い敷地の松元中学校は、4つの小学校の卒業生が通学する松元地域唯一の中学校です。

JRとともに交通の大動脈である南九州西回り自動車道は、現在鹿児島IC〜串木野IC間が開通。平成18年度中に隈之城IC(薩摩川内市)までつながる予定です。



市民フォト

鹿児島

NO.103

編集・発行／鹿児島市広報課

鹿児島市山下町11番1号
電話 216・1133

印刷・レイアウト／渕上印刷株式会社

